



平成28年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年11月6日

上場取引所 東

上場会社名 小倉クラッチ株式会社

コード番号 6408 URL <http://www.oguraclutch.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 小倉 康宏

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員

(氏名) 河内 正美

TEL 0277-54-7101

四半期報告書提出予定日 平成27年11月6日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第2四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第2四半期	19,294	3.4	602	5.2	567	△14.1	355	11.5
27年3月期第2四半期	18,669	△3.4	572	37.8	660	24.0	318	5.6

(注) 包括利益 28年3月期第2四半期 466百万円 (62.4%) 27年3月期第2四半期 287百万円 (△75.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
28年3月期第2四半期	23.73	—
27年3月期第2四半期	21.27	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円銭
28年3月期第2四半期	41,182	16,639	39.6	1,087.82
27年3月期	42,706	16,323	37.5	1,068.43

(参考) 自己資本 28年3月期第2四半期 16,290百万円 27年3月期 16,004百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
27年3月期	—	0.00	—	10.00	10.00
28年3月期	—	0.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

平成28年3月期期末配当につきましては、現時点では未定とさせていただきます。

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	40,000	8.1	1,300	36.6	1,200	15.2	750	82.8	50.06

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	28年3月期2Q	15,533,232 株	27年3月期	15,533,232 株
② 期末自己株式数	28年3月期2Q	557,917 株	27年3月期	553,527 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	28年3月期2Q	14,977,551 株	27年3月期2Q	14,984,803 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。なお、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しました。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、【添付資料】3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、米国を中心とした先進国では比較的堅調に推移したものの、中国経済の減速やその影響による新興国経済の減速が顕著となり、世界経済の下振れリスクが高まりました。加えて米国利上げ観測も予断を許さず、先行き不透明感が急速に増しました。

一方、日本経済においては円安・株高基調が持続し、企業業績の改善がみられるものの、個人消費の回復は依然弱く、全体として景気は横ばいの状況が続きました。

このような状況のもとで、当社グループはグローバル市場で積極的な販売活動を行ってまいりました。その結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は、19,294百万円と前年同期と比べ624百万円の増加(前年同期比3.4%増)となりました。これにより、営業利益は602百万円と前年同期と比べ29百万円の増加(前年同期比5.2%増)し、経常利益は為替差益の減少等により567百万円と前年同期と比べ93百万円の減少(前年同期比14.1%減)し、親会社株主に帰属する四半期純利益は355百万円と前年同期と比べ36百万円の増加(前年同期比11.5%増)となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

①輸送機器用事業

輸送機器用事業においては、北米の販売は堅調に推移してまいりましたが、欧州の販売は長引く景気低迷の影響を受け苦戦を強いられ、アジアの販売も中国の景気減速の影響を受け弱含みで推移しました。

その結果、売上高は13,772百万円と前年同期と比べ185百万円の増加(前年同期比1.4%増)となり、セグメント利益は534百万円と前年同期と比べ113百万円の増加(前年同期比27.0%増)となりました。

②一般産業用事業

一般産業用事業においては、モーター、印刷・製本、昇降・運搬、金属工作業界向けの販売は増加となりましたが、OA、変・減速機業界向けの販売は減少となりました。

その結果、売上高は4,829百万円と前年同期と比べ228百万円の増加(前年同期比5.0%増)となり、セグメント利益は11百万円と前年同期と比べ78百万円の減少(前年同期比86.8%減)となりました。

③その他

その他では、売上高が692百万円と前年同期と比べ211百万円の増加(前年同期比43.9%増)となりました。セグメント利益は63百万円と前年同期と比べ17百万円の増加(前年同期比39.2%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の資産につきましては、流動資産は主に、現金及び預金の減少等により27,114百万円(前期末比1,759百万円減)となりました。固定資産は主に、有形固定資産の増加等により14,068百万円(前期末比236百万円増)となりました。その結果、資産合計は41,182百万円(前期末比1,523百万円減)となりました。

負債につきましては、流動負債は主に、支払手形及び買掛金、短期借入金の減少等により19,084百万円(前期末比2,069百万円減)となり、固定負債は主に、長期借入金の増加等により5,459百万円(前期末比230百万円増)となりました。その結果、負債合計は24,543百万円(前期末比1,838百万円減)となりました。

純資産につきましては、利益剰余金の増加等により16,639百万円(前期末比315百万円増)となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間におけるキャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果使用した資金は86百万円(前年同期は1,170百万円の獲得)となりました。主な増加要因は税金等調整前四半期純利益619百万円、減価償却費636百万円等であります。一方、主な減少要因は仕入債務の減少額974百万円、法人税等の支払額411百万円等によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は789百万円(前年同期比289百万円増)となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出840百万円によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は691百万円(前年同期比382百万円増)となりました。これは主に長期借入金の返済による支出1,243百万円によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点では、平成27年5月11日に公表いたしました平成28年3月期業績予想に変更ありません。ただし、今後の経営環境を踏まえ、業績予想の修正が必要である場合は、適時に開示してまいります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。)、
「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。)
及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更しております。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更しております。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

当第2四半期連結累計期間の四半期連結キャッシュ・フロー計算書においては、連結範囲の変動を伴わない子会社株式の取得又は売却に係るキャッシュ・フローについては、「財務活動によるキャッシュ・フロー」の区分に記載し、連結範囲の変動を伴う子会社株式の取得関連費用もしくは連結範囲の変動を伴わない子会社株式の取得又は売却に関連して生じた費用に係るキャッシュ・フローは、「営業活動によるキャッシュ・フロー」の区分に記載する方法に変更しております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

なお、当第2四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表に与える影響額はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,140	6,640
受取手形及び売掛金	11,043	11,021
商品及び製品	3,663	3,445
仕掛品	2,679	2,696
原材料及び貯蔵品	2,042	2,130
繰延税金資産	308	283
その他	1,036	929
貸倒引当金	△40	△33
流動資産合計	28,873	27,114
固定資産		
有形固定資産	11,358	11,543
無形固定資産		
その他	357	351
無形固定資産合計	357	351
投資その他の資産	2,115	2,173
固定資産合計	13,832	14,068
資産合計	42,706	41,182
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,951	7,940
短期借入金	9,642	9,053
未払法人税等	320	114
賞与引当金	297	309
事業構造改善引当金	99	67
その他	1,842	1,598
流動負債合計	21,153	19,084
固定負債		
長期借入金	3,527	3,711
繰延税金負債	371	362
役員退職慰労引当金	499	550
関係会社整理損失引当金	181	166
退職給付に係る負債	75	73
資産除去債務	18	18
その他	554	575
固定負債合計	5,229	5,459
負債合計	26,382	24,543

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,858	1,858
資本剰余金	1,844	1,844
利益剰余金	11,628	11,834
自己株式	△346	△348
株主資本合計	14,985	15,189
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	590	567
為替換算調整勘定	556	642
退職給付に係る調整累計額	△127	△109
その他の包括利益累計額合計	1,019	1,100
非支配株主持分	318	348
純資産合計	16,323	16,639
負債純資産合計	42,706	41,182

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
売上高	18,669	19,294
売上原価	15,689	15,973
売上総利益	2,980	3,321
販売費及び一般管理費	2,407	2,718
営業利益	572	602
営業外収益		
受取利息	22	16
受取配当金	18	19
為替差益	91	—
不動産賃貸料	36	35
持分法による投資利益	34	—
その他	65	70
営業外収益合計	268	141
営業外費用		
支払利息	101	109
手形売却損	5	2
為替差損	—	27
その他	73	37
営業外費用合計	180	177
経常利益	660	567
特別利益		
国庫補助金	—	52
特別利益合計	—	52
特別損失		
関係会社整理損失引当金繰入額	46	—
特別損失合計	46	—
税金等調整前四半期純利益	614	619
法人税、住民税及び事業税	270	214
法人税等調整額	△7	26
法人税等合計	262	240
四半期純利益	351	379
非支配株主に帰属する四半期純利益	32	23
親会社株主に帰属する四半期純利益	318	355

(四半期連結包括利益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
四半期純利益	351	379
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	141	△23
為替換算調整勘定	△239	92
持分法適用会社に対する持分相当額	△2	—
退職給付に係る調整額	37	18
その他の包括利益合計	△63	87
四半期包括利益	287	466
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	264	437
非支配株主に係る四半期包括利益	23	29

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	614	619
減価償却費	517	636
のれん償却額	△2	△2
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△3	△3
賞与引当金の増減額(△は減少)	4	12
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	—	25
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△19	△2
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	17	51
関係会社整理損失引当金の増減額(△は減少)	43	△14
事業構造改善引当金の増減額(△は減少)	△64	△25
受取利息及び受取配当金	△40	△35
支払利息	101	109
為替差損益(△は益)	0	40
持分法による投資損益(△は益)	△34	0
売上債権の増減額(△は増加)	205	21
たな卸資産の増減額(△は増加)	△133	82
仕入債務の増減額(△は減少)	△194	△974
その他	260	△150
小計	1,272	391
利息及び配当金の受取額	298	35
利息の支払額	△101	△102
法人税等の支払額	△299	△411
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,170	△86
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△1,557	△1,554
定期預金の払戻による収入	1,553	1,552
有形固定資産の取得による支出	△500	△840
有形固定資産の売却による収入	4	164
投資有価証券の取得による支出	△1	△55
貸付けによる支出	△0	△0
貸付金の回収による収入	8	1
その他	△7	△58
投資活動によるキャッシュ・フロー	△500	△789

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	2,801	3,955
短期借入金の返済による支出	△2,758	△3,925
長期借入れによる収入	400	790
長期借入金の返済による支出	△507	△1,243
自己株式の取得による支出	△1	△1
配当金の支払額	△149	△148
その他	△92	△116
財務活動によるキャッシュ・フロー	△308	△691
現金及び現金同等物に係る換算差額	△97	66
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	263	△1,501
現金及び現金同等物の期首残高	5,690	6,543
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,954	5,042

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間（自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	輸送機器用事業	一般産業用事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	13,587	4,600	18,188	481	18,669
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	18	2	21	—	21
計	13,606	4,603	18,210	481	18,691
セグメント利益	420	90	511	45	556

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、防災関連業界向け等の輸送機器用事業および一般産業用事業以外の事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	511
「その他」の区分の利益	45
内部取引消去	△21
棚卸資産の調整	30
減価償却費の調整	7
全社費用（注）	0
四半期連結損益計算書の営業利益	572

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	輸送機器用事業	一般産業用事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	13,772	4,829	18,602	692	19,294
セグメント間の内部売上高又は振替高	30	3	34	—	34
計	13,803	4,832	18,636	692	19,328
セグメント利益	534	11	546	63	610

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、防災関連業界向け等の輸送機器用事業および一般産業用事業以外の事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	546
「その他」の区分の利益	63
内部取引消去	△30
棚卸資産の調整	9
減価償却費の調整	12
全社費用(注)	0
四半期連結損益計算書の営業利益	602

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。